

## 社会科同好会準備編②

2023年12月22日(金)午前時程の放課後、「社会科同好会(仮・申請中)」のうち、1学年生徒5名＋社会科教員2名で、「高麗博物館」に行ってきました。西武線の西武新宿駅北口から徒歩5分くらいの場所にあります。近くの食堂で韓国料理を食べてから、博物館の入っているビルに向かいました。

企画展「関東大震災100年 隠蔽された朝鮮人虐殺(7月5日～12月24日)」が開催中で、本邦初公開の「関東大震災絵巻(淇谷)」を見ながら館員の戸田さんから解説を伺い、事件の背景を考えました。また、見学後に約1時間、館員の岩元さんに新大久保の街を案内していただきました。テーマは「多民族・多文化共生をめざす街 新大久保」、主な見学地は「大久保小学校・幼稚園(多言語の案内掲示。日本語国際学級あり)→小泉八雲記念公園(ギリシャ風でした!)→イスラム横丁(外からは分からないビル内のモスク、ハラルフードのお店など)」です。

以下、参加した生徒の感想の一部を紹介します。

◆100年前という割と最近の出来事なのに朝鮮人虐殺など酷くて残酷なことが行われていたと思うとゾッとしたり胸が痛くなりました。その後虐殺をなかったことにしようとする日本人がいたことも腹が立ちました。朝鮮人虐殺のことは絶対に忘れてはならないと思うしこれを反面教師にして生きていこうと思いました。新大久保はすごく多様性を感じました。僕の地元ではあまり外国の方を見かけないので最初は少しびっくりしましたが、歩いているとだんだん慣れてきて、こんな日本の未来も悪くないなと思いました。すごく楽しい見学でした。

◆とても楽しかったです。関東大震災の知識はほとんどない状態だったので、朝鮮人虐殺がここまで酷いものだったと今日初めて知りました。川に流れている死体の写真や巻物など珍しい資料も見られて貴重な体験になりました。戸田さんの説明も丁寧でとても分かりやすく、虐殺がどれだけ酷いものだったかよく分かりました。その後の街歩きでもたくさんの興味を引くものがありとても楽しかったです。ビビンバにチャイにクッキーに美味しいものを沢山食べられて幸せでした。今日はありがとうございました。

◆関東大震災＝地震のみというイメージが強かったが、今回関東大震災直後に日本政府や日本人がとっていた行動を見て唖然とした。今、日韓関係が悪い状況なのも一部を詳しく知ることができてよかった。教科書でもあまり触れられない範囲だったのでもっとこのことについて内容を深く知るべきだと感じた。

◆日韓の関係性を初めて知ることができてとても良い経験になりました。普段なかなか見ることのできない資料を見られて面白かったです。新大久保も初めて行ったので歩きながら街を見ることも面白かったです。

◆最初に韓国料理屋に行ってチーズのキムチのご飯を食べて辛かったけど韓国料理を食べられてよかったです。高麗博物館では朝鮮人虐殺について実際の写真や資料からその時代の様子を拝見し、過去にあったことについて深く知ることができ、興味を持ちました。このようなことがつい100年前というとても近い時代にあったことを知り、考えさせ

られました。もしまだ韓国を併合している社会だったらこのような感じになっていたのかなあと考えました。新大久保には外国のお店や外国人の住宅の割合が多いことを知り、驚きました。モスクの中を覗けなかったのは残念でした。機会があったら見てみたいです。今日は楽しかったです。



民族衣装の試着ができるコーナーもありましたが、時間切れで残念。またの機会に、ぜひ…  
戸田さん、詳しい解説をありがとうございました！



高麗博物館館員の岩元さんによると、大久保小学校では、韓国・中国・フィリピン・タイ・ミャンマー・ネパールなどに関する子どもたちが日本語国際学級で学習しているそうです。大久保幼稚園にも6カ国語で駐輪場案内板がありました。元国際学級の担任・善元幸夫先生による絵本を紹介して下さいました。



大久保は小泉八雲(ラフカディオ・ハーン)の終焉の地。名前は知らなくても、「耳なし芳一」のお話は知っている人は多いですよ。ね？出身地ギリシャのレフカダ市をイメージした公園を通り抜けて、様々な国・地域のお店が軒を連ねるエリアへ移動しました。



張り紙がなければ、外見からは分からない、そんなビル内モスクがありました。イスラム横丁では、独特の食料品が売られていて、通りの香りもスパイシーでした。みんなで一杯ずつチャイを飲んで、街歩きは「ゴール」。感想をお互い述べ合ってから解散しました。岩元さん、ご案内ありがとうございました！